

FirstGlobal メッセージ

siesta

2016.2月号 vol.153

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

ずる

今回は「ずる 嘘とごまかしの行動経済学」(ダン・アリエリー著 櫻井祐子訳 早川書房)という本です。世の中は「ずる」の連続です。東芝の会計不祥事、ロシアの国を挙げてのドーピング問題、東京五輪のエンブレム問題(この問題の真偽はわかりませんが)まさに「ずる」のオンパレードです。

アリエリー教授によると「人はそれほどごまかし(不正)をしない」、ただ地球上の誰もがちょっとだけごまかしをする可能性は十分ある、とのこと。私たち人間は一方では正直でありたいと思いつつ、その一方では「ずる」をして得をしたいとも考える。そのせいで「正直な人間」という自己イメージと実際の行動との間にずれが生じる。そんな時驚くような柔軟性を発揮して「つじつま合わせ」をし、「ずる」をするそうです。タレントの神田うのさんが、委託していたベビーシッターに数千万円単位で所持品を盗まれたという事件がありました。盗った本人を擁護するつもりはさらさらありませんが、この人は根っからの大悪党だったのでしょうか?おそらくですが、当初は低価なモノからだんだんエスカレートしていったのではないのでしょうか?詳しい真相はわかりませんが、神田さんが何らかの盗まれないしくみをやっていたら、ここまでのことにはなっていなかったのかもしれない。本気で不正を減らすには、そもそもなぜ人が不正な行動を取るのか、それを理解することから始めなくてはならない、とのこと。具体的には、サインをさせる、誓約させる、誘惑の瞬間に道徳心を呼び起こすモノを用いる、最後は「監視」だそうです。「人を信じる」というのは大事なことです、やはり「監視」は必要です。監視というと大げさですが一定のしくみや客観的なチェックは必要です。ずる、不正とは少々違うかもしれませんが、社員がサボる、会社側が期待する働き、動きをしてくれないというのはあながち本人の能力、意識だけの問題だけではないのかもしれない。ここのところ社員側の方々とお話する機会が多いのですが、それを痛感します。

< next >

あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。